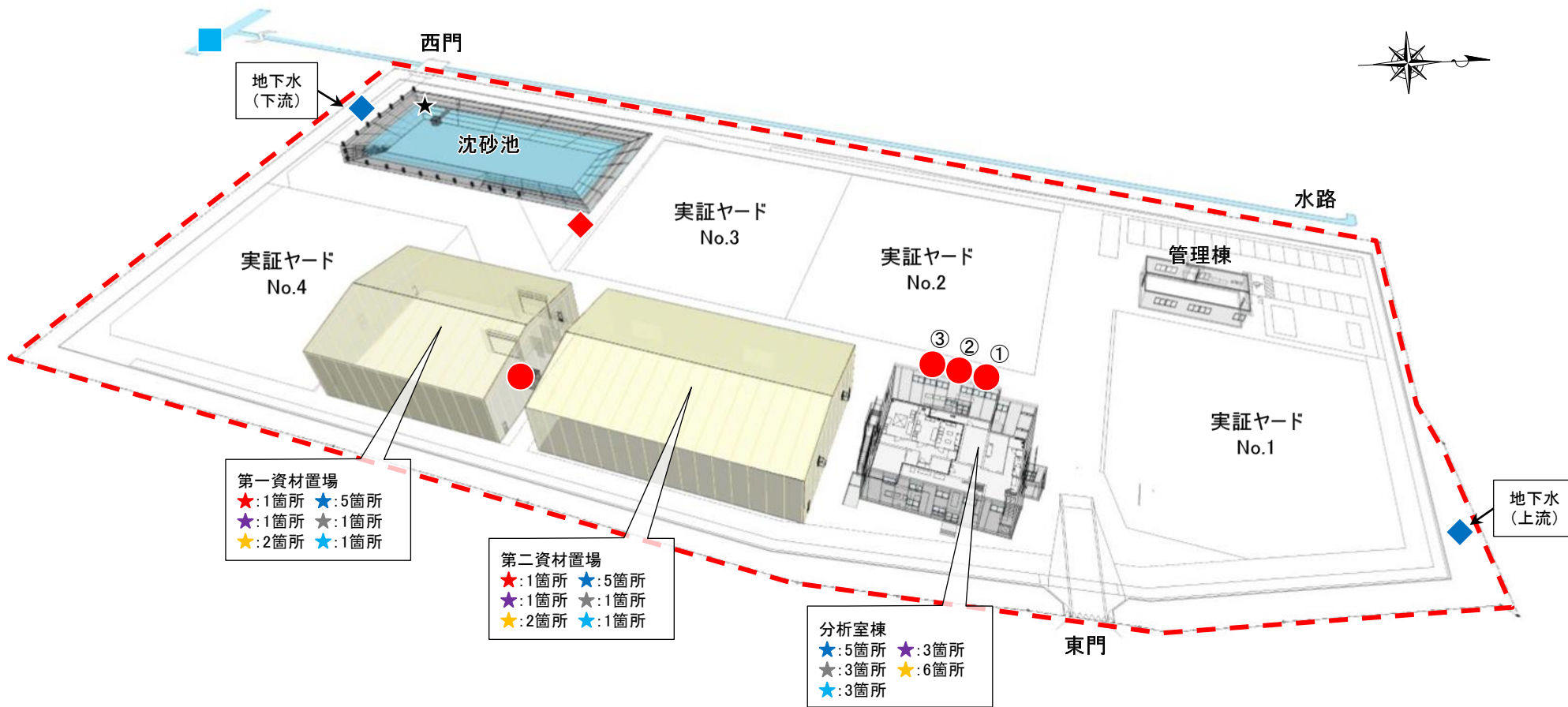


技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定地点（月次測定）



★:施設の位置



【凡例】

- | | | |
|--------------------------|----------------|------------------|
| ◆: 地下水中の放射能濃度等 | ●: 排気中の放射能濃度 | ◆: 実証試験排水の放射能濃度等 |
| ★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質量、放射能濃度 | ■: 放流先河川の放射能濃度 | ★: 粉じん濃度 |
| ★: 空間線量率(作業環境) | ★: 空気中の放射能濃度 | ★: 表面汚染密度(床) |
| ★: 表面汚染密度(壁) | ★: 表面汚染密度(設備) | ---: 敷地境界線 |

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2024年2月

◆地下水（井戸）中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/9/6 (稼働前)		27
	2024/2/6 (稼働後)		24
下流	2019/9/6 (稼働前)		14
	2024/2/6 (稼働後)		43

測定地点	測定日	測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2024/2/6 (稼働後)		7.8
下流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2024/2/6 (稼働後)		7.6

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2024/2/6 (稼働後)		ND	ND
下流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2024/2/6 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
第一資材置場	集じん機 FL>部	2024/2/2 (稼働後)		ND	ND
		2024/2/2 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	①一般分析 第一前処理室	2024/2/1 (稼働後)		ND	ND
		2024/2/1 (稼働後)		ND	ND
	②固体試料 第一前処理室	2024/2/1 (稼働後)		ND	ND
		2024/2/1 (稼働後)		ND	ND
	③固体試料 第二前処理室	2024/2/1 (稼働後)		ND	ND
		2024/2/1 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（FL>部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆実証試験排水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2024/2/1	8.5	1.4	8.9	1.6

pH管理値：5.8~8.6、BOD管理値：60mg/L、COD管理値：90mg/L、SS管理値：60mg/L

◆実証試験排水の放射能濃度等

放流日	放流回数	濁度		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値			
2024/2/20	1	4.5	4.5	ND	ND	8.9

濁度管理値：5以下

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2024/2/6	ND

SS管理値：60mg/L

浮遊物質量 (SS) の報告下限値：1mg/L

NDとは、報告下限値未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2024/2/6 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/9/27 (稼働前)		ND	1.2
2024/2/6 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度 / 60 + セシウム137の濃度 / 90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m ³)
第一資材置場	2024/2/2 (稼働後)		ND
第二資材置場	2024/2/2 (稼働後)		0.1

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
	西	2024/2/2 (稼働後)	0.25
	南	2024/2/2 (稼働後)	0.61
	北	2024/2/2 (稼働後)	0.18
	中央	2024/2/2 (稼働後)	0.29
第二資材置場	東	2024/2/2 (稼働後)	0.29
	西	2024/2/2 (稼働後)	0.21
	南	2024/2/2 (稼働後)	0.22
	北	2024/2/2 (稼働後)	0.23
	中央	2024/2/2 (稼働後)	0.24
分析室棟	一般分析第一前処理室	2024/2/1 (稼働後)	0.10
	固体試料第二前処理室	2024/2/1 (稼働後)	0.14
	放射能濃度測定室	2024/2/1 (稼働後)	0.11
	防護員脱衣室	2024/2/1 (稼働後)	0.10
	廊下1	2024/2/1 (稼働後)	0.10

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
第一資材置場	2024/2/2 (稼働後)		ND	ND
第二資材置場	2024/2/2 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	2024/2/1 (稼働後)	ND	ND
		2024/2/1 (稼働後)	ND	ND
		2024/2/1 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻³ Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻³ Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度 / 2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度 / 3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm ²)		
				第一資材置場	床
	壁	東	2024/2/2 (稼働後)	ND	
		西	2024/2/2 (稼働後)	ND	
	設備	集じん機	2024/2/2 (稼働後)	ND	
第二資材置場	床	中央	2024/2/2 (稼働後)	ND	
	壁	東	2024/2/2 (稼働後)	ND	
		西	2024/2/2 (稼働後)	ND	
	設備	操作盤	2024/2/2 (稼働後)	ND	
分析室棟	一般分析第一前処理室	床	中央	2024/2/1 (稼働後)	ND
		壁	東	2024/2/1 (稼働後)	ND
			西	2024/2/1 (稼働後)	ND
		設備	集じん機	2024/2/1 (稼働後)	ND
		壁	東	2024/2/1 (稼働後)	ND
	固体試料第一前処理室	床	中央	2024/2/1 (稼働後)	ND
		壁	東	2024/2/1 (稼働後)	ND
			西	2024/2/1 (稼働後)	ND
		設備	集じん機	2024/2/1 (稼働後)	ND
		壁	東	2024/2/1 (稼働後)	ND
	固体試料第二前処理室	床	中央	2024/2/1 (稼働後)	ND
		壁	東	2024/2/1 (稼働後)	ND
			西	2024/2/1 (稼働後)	ND
		設備	集じん機	2024/2/1 (稼働後)	ND
		壁	東	2024/2/1 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2024年1月

◆地下水（井戸）中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/9/6 (稼働前)		27
	2024/1/9 (稼働後)		22
下流	2019/9/6 (稼働前)		14
	2024/1/9 (稼働後)		32

測定地点	測定日	測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2024/1/9 (稼働後)		8.5
下流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2024/1/9 (稼働後)		6.5

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2024/1/9 (稼働後)		ND	ND
下流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2024/1/9 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
第一資材置場	集じん機 FL>部	2024/1/12 (稼働後)		ND	ND
		2024/1/12 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	①一般分析 第一前処理室	2024/1/11 (稼働後)		ND	ND
		2024/1/11 (稼働後)		ND	ND
	②固体試料 第一前処理室	2024/1/11 (稼働後)		ND	ND
		2024/1/11 (稼働後)		ND	ND
	③固体試料 第二前処理室	2024/1/11 (稼働後)		ND	ND
		2024/1/11 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（FL>部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆実証試験排水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2024/1/25	8.1	1.2	11	1.8

pH管理値：5.8~8.6、BOD管理値：60mg/L、COD管理値：90mg/L、SS管理値：60mg/L

◆実証試験排水の放射能濃度等

放流日	放流回数	濁度		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値			
2024/1/31	1	2.4	2.4	ND	ND	8.2

濁度管理値：5以下

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2024/1/19	ND

SS管理値：60mg/L

浮遊物質量 (SS) の報告下限値：1mg/L

NDとは、報告下限値未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2024/1/19 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/9/27 (稼働前)		ND	1.2
2024/1/9 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度 / 60 + セシウム137の濃度 / 90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m ³)
第一資材置場	2024/1/12 (稼働後)		ND
第二資材置場	2024/1/12 (稼働後)		ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
	西	2024/1/12 (稼働後)	0.28
	南	2024/1/12 (稼働後)	0.44
	北	2024/1/12 (稼働後)	0.19
	中央	2024/1/12 (稼働後)	0.29
第二資材置場	東	2024/1/12 (稼働後)	0.31
	西	2024/1/12 (稼働後)	0.20
	南	2024/1/12 (稼働後)	0.22
	北	2024/1/12 (稼働後)	0.24
	中央	2024/1/12 (稼働後)	0.25
分析室棟	一般分析第一前処理室	2024/1/11 (稼働後)	0.08
	固体試料第二前処理室	2024/1/11 (稼働後)	0.29
	放射能濃度測定室	2024/1/11 (稼働後)	0.11
	防護員脱衣室	2024/1/11 (稼働後)	0.09
	廊下1	2024/1/11 (稼働後)	0.10

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
第一資材置場	2024/1/12 (稼働後)		ND	ND
第二資材置場	2024/1/12 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	2024/1/11 (稼働後)	ND	ND
	固体試料第一前処理室	2024/1/11 (稼働後)	ND	ND
	固体試料第二前処理室	2024/1/11 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻³ Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻³ Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度 / 2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度 / 3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm ²)		
第一資材置場	床	中央	2024/1/12 (稼働後)	ND	
		東	2024/1/12 (稼働後)	ND	
		西	2024/1/12 (稼働後)	ND	
第二資材置場	設備	集じん機	2024/1/12 (稼働後)	ND	
		床	2024/1/12 (稼働後)	ND	
		壁	2024/1/12 (稼働後)	ND	
分析室棟	設備	操作盤	2024/1/12 (稼働後)	ND	
		床	2024/1/11 (稼働後)	ND	
		壁	2024/1/11 (稼働後)	ND	
	一般分析第一前処理室	東	2024/1/11 (稼働後)	ND	
		西	2024/1/11 (稼働後)	ND	
		設備	集じん機	2024/1/11 (稼働後)	ND
	固体試料第一前処理室	床	中央	2024/1/11 (稼働後)	ND
		東	2024/1/11 (稼働後)	ND	
		西	2024/1/11 (稼働後)	ND	
	固体試料第二前処理室	設備	集じん機	2024/1/11 (稼働後)	ND
		床	中央	2024/1/11 (稼働後)	ND
		東	2024/1/11 (稼働後)	ND	
	西	2024/1/11 (稼働後)	ND		
	設備	集じん機	2024/1/11 (稼働後)	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.20 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2023年12月

◆地下水（井戸）中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/9/6	(稼働前)	27
	2023/12/5	(稼働後)	26
下流	2019/9/6	(稼働前)	14
	2023/12/5	(稼働後)	51

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2023/12/5	(稼働後)	7.6
下流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2023/12/5	(稼働後)	7.1

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND
	2023/12/5	(稼働後)	ND	ND
下流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND
	2023/12/5	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
		測定日			
第一資材置場	集じん機 FL>部	2023/12/8	(稼働後)	ND	ND
		2023/12/8	(稼働後)	ND	ND
分析室棟	①一般分析 第一前処理室	2023/12/7	(稼働後)	ND	ND
		2023/12/7	(稼働後)	ND	ND
	②固体試料 第一前処理室	2023/12/7	(稼働後)	ND	ND
		2023/12/7	(稼働後)	ND	ND
	③固体試料 第二前処理室	2023/12/7	(稼働後)	ND	ND
		2023/12/7	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（FL>部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆実証試験排水の環境項目

排水処理・放流の実績はないため測定なし。
(2023/11/3以降排水なし)

◆実証試験排水の放射能濃度等

排水処理・放流の実績はないため測定なし。
(2023/11/3以降排水なし)

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	
	浮遊物質量 (SS) (mg/L)	
2023/12/5		2.6

SS管理値：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定日	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
2023/12/5	(稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目		
	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	
2019/9/27	(稼働前)	ND	1.2
2023/12/5	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日		
第一資材置場	2023/12/8	(稼働後)	ND
	2023/12/8	(稼働後)	0.1

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
第一資材置場	東	2023/12/8 (稼働後)	0.70
	西	2023/12/8 (稼働後)	0.30
	南	2023/12/8 (稼働後)	0.45
	北	2023/12/8 (稼働後)	0.19
第二資材置場	中央	2023/12/8 (稼働後)	0.31
	東	2023/12/8 (稼働後)	0.35
	西	2023/12/8 (稼働後)	0.24
	南	2023/12/8 (稼働後)	0.24
	北	2023/12/8 (稼働後)	0.23
分析室棟	中央	2023/12/8 (稼働後)	0.24
	一般分析第一前処理室	2023/12/7 (稼働後)	0.10
	固体試料第二前処理室	2023/12/7 (稼働後)	0.25
	放射能濃度測定室	2023/12/7 (稼働後)	0.11
	防護服脱衣室	2023/12/7 (稼働後)	0.10
	廊下1	2023/12/7 (稼働後)	0.11

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
	測定日			
第一資材置場	2023/12/8	(稼働後)	ND	ND
第二資材置場	2023/12/8	(稼働後)	ND	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	2023/12/7 (稼働後)	ND	ND
	固体試料第一前処理室	2023/12/7 (稼働後)	ND	ND
	固体試料第二前処理室	2023/12/7 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻² Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻² Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻² + セシウム137の濃度/3 × 10⁻² ≤ 1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm ²)		
	測定日				
第一資材置場	床	中央	2023/12/8 (稼働後)	ND	
		東	2023/12/8 (稼働後)	ND	
	壁	西	2023/12/8 (稼働後)	ND	
		設備	集じん機	2023/12/8 (稼働後)	ND
第二資材置場	床	中央	2023/12/8 (稼働後)	ND	
		東	2023/12/8 (稼働後)	ND	
	壁	西	2023/12/8 (稼働後)	ND	
		設備	操作盤	2023/12/8 (稼働後)	ND
	分析室棟	床	中央	2023/12/7 (稼働後)	ND
東			2023/12/7 (稼働後)	ND	
西			2023/12/7 (稼働後)	ND	
設備			集じん機	2023/12/7 (稼働後)	ND
固体試料第一前処理室		床	中央	2023/12/7 (稼働後)	ND
			東	2023/12/7 (稼働後)	ND
		壁	西	2023/12/7 (稼働後)	ND
			設備	集じん機	2023/12/7 (稼働後)
固体試料第二前処理室		床	中央	2023/12/7 (稼働後)	ND
			東	2023/12/7 (稼働後)	ND
		壁	西	2023/12/7 (稼働後)	ND
			設備	集じん機	2023/12/7 (稼働後)

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2023年11月

◆地下水（井戸）中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/9/6 (稼働前)		27
	2023/11/2 (稼働後)		23
下流	2019/9/6 (稼働前)		14
	2023/11/2 (稼働後)		40

測定地点	測定日	測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2023/11/2 (稼働後)		7.2
下流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2023/11/2 (稼働後)		6.9

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2023/11/2 (稼働後)		ND	ND
下流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2023/11/2 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点		測定対象	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
第一資材置場	集じん機	円筒ろ紙 FL>部	2023/11/2 (稼働後)		ND	ND
			2023/11/2 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	①一般分析 第一前処理室	円筒ろ紙 FL>部	2023/11/1 (稼働後)		ND	ND
			2023/11/1 (稼働後)		ND	ND
	②固体試料 第一前処理室	円筒ろ紙 FL>部	2023/11/1 (稼働後)		ND	ND
			2023/11/1 (稼働後)		ND	ND
	③固体試料 第二前処理室	円筒ろ紙 FL>部	2023/11/1 (稼働後)		ND	ND
			2023/11/1 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（FL>部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆実証試験排水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2023/11/2	8.3	1.5	15	1.2

pH管理値：5.8~8.6、BOD管理値：60mg/L、COD管理値：90mg/L、SS管理値：60mg/L

◆実証試験排水の放射能濃度等

放流日	放流回数	濁度		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値			
2023/11/24	1	0.5	0.5	ND	ND	3.2

濁度管理値：5以下

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2023/11/2	ND

SS管理値：60mg/L

浮遊物質量 (SS) の報告下限値：1mg/L

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2023/11/2 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/9/27 (稼働前)		ND	1.2
2023/11/2 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度 / 60 + セシウム137の濃度 / 90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m ³)
第一資材置場	2023/11/2 (稼働後)		ND
第二資材置場	2023/11/2 (稼働後)		ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点		測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
第一資材置場	東	2023/11/2 (稼働後)		0.76
	西	2023/11/2 (稼働後)		0.27
	南	2023/11/2 (稼働後)		0.44
	北	2023/11/2 (稼働後)		0.26
	中央	2023/11/2 (稼働後)		0.31
第二資材置場	東	2023/11/2 (稼働後)		0.34
	西	2023/11/2 (稼働後)		0.24
	南	2023/11/2 (稼働後)		0.25
	北	2023/11/2 (稼働後)		0.26
	中央	2023/11/2 (稼働後)		0.25
分析室棟	一般分析第一前処理室	2023/11/1 (稼働後)		0.10
	固体試料第二前処理室	2023/11/1 (稼働後)		0.30
	放射能濃度測定室	2023/11/1 (稼働後)		0.13
	防護服脱衣室	2023/11/1 (稼働後)		0.10
	廊下1	2023/11/1 (稼働後)		0.10

★空気中の放射能濃度

測定地点		測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
第一資材置場		2023/11/2 (稼働後)		ND	ND
第二資材置場		2023/11/2 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	2023/11/1 (稼働後)		ND	ND
	固体試料第一前処理室	2023/11/1 (稼働後)		ND	ND
	固体試料第二前処理室	2023/11/1 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻³ Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻³ Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度 / 2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度 / 3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点			測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
第一資材置場	床	中央	2023/11/2 (稼働後)		ND	
		東	2023/11/2 (稼働後)		ND	
		西	2023/11/2 (稼働後)		ND	
	設備	集じん機	2023/11/2 (稼働後)		ND	
		集じん機	2023/11/2 (稼働後)		ND	
第二資材置場	床	中央	2023/11/2 (稼働後)		ND	
		東	2023/11/2 (稼働後)		ND	
		西	2023/11/2 (稼働後)		ND	
		設備	操作盤	2023/11/2 (稼働後)		ND
		設備	集じん機	2023/11/2 (稼働後)		ND
	分析室棟	一般分析第一前処理室	床	中央	2023/11/1 (稼働後)	ND
			壁	東	2023/11/1 (稼働後)	ND
			壁	西	2023/11/1 (稼働後)	ND
			設備	集じん機	2023/11/1 (稼働後)	ND
			設備	集じん機	2023/11/1 (稼働後)	ND
第二資材置場	床	中央	2023/11/1 (稼働後)		ND	
		東	2023/11/1 (稼働後)		ND	
		西	2023/11/1 (稼働後)		ND	
		設備	集じん機	2023/11/1 (稼働後)		ND
		設備	集じん機	2023/11/1 (稼働後)		ND
	分析室棟	固体試料第二前処理室	床	中央	2023/11/1 (稼働後)	ND
			壁	東	2023/11/1 (稼働後)	ND
			壁	西	2023/11/1 (稼働後)	ND
			設備	集じん機	2023/11/1 (稼働後)	ND
			設備	集じん機	2023/11/1 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2023年10月

◆地下水（井戸）中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		27
	2023/10/3 (稼働後)		22
下流	2019/9/6 (稼働前)		14
	2023/10/3 (稼働後)		47

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2023/10/3 (稼働後)		5.1
下流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2023/10/3 (稼働後)		6.2

測定地点	測定日	測定項目	
		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/9/6 (稼働前)	ND	ND
	2023/10/3 (稼働後)	ND	ND
下流	2019/9/6 (稼働前)	ND	ND
	2023/10/3 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
		測定日			
第一資材置場	集じん機 ドレン部	2023/10/6 (稼働後)		ND	ND
		2023/10/6 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	①一般分析 第一前処理室	2023/10/5 (稼働後)		ND	ND
		2023/10/5 (稼働後)		ND	ND
	②固体試料 第一前処理室	2023/10/5 (稼働後)		ND	ND
		2023/10/5 (稼働後)		ND	ND
	③固体試料 第二前処理室	2023/10/5 (稼働後)		ND	ND
		2023/10/5 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆実証試験排水の環境項目

排水処理・放流の実績はないため測定なし。
(2023/9/29以降排水なし)

◆実証試験排水の放射能濃度等

排水処理・放流の実績はないため測定なし。
(2023/9/29以降排水なし)

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2023/10/3	2.1

SS管理値：60mg/L

浮遊物質量 (SS) の報告下限値：1mg/L

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定日	測定項目	
	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2023/10/3 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	
	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/9/27 (稼働前)	ND	1.2
2023/10/3 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日		
第一資材置場	2023/10/6 (稼働後)		0.1
	2023/10/6 (稼働後)		0.1

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目	
		測定日	空間線量率 (μSv/h)
第一資材置場	東	2023/10/6 (稼働後)	0.65
		2023/10/6 (稼働後)	0.26
		2023/10/6 (稼働後)	0.42
		2023/10/6 (稼働後)	0.21
		2023/10/6 (稼働後)	0.29
第二資材置場	東	2023/10/6 (稼働後)	0.32
		2023/10/6 (稼働後)	0.23
		2023/10/6 (稼働後)	0.23
		2023/10/6 (稼働後)	0.25
		2023/10/6 (稼働後)	0.24
分析室棟	一般分析第一前処理室	2023/10/5 (稼働後)	0.11
		2023/10/5 (稼働後)	0.31
		2023/10/5 (稼働後)	0.13
		2023/10/5 (稼働後)	0.10
		2023/10/5 (稼働後)	0.11

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	
		Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
第一資材置場	2023/10/6 (稼働後)	ND	ND
第二資材置場	2023/10/6 (稼働後)	ND	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	2023/10/5 (稼働後)	ND
		2023/10/5 (稼働後)	ND
		2023/10/5 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定日	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
		測定日			
第一資材置場	床	2023/10/6 (稼働後)	中央	ND	
		2023/10/6 (稼働後)	東	ND	
		2023/10/6 (稼働後)	西	ND	
		2023/10/6 (稼働後)	設備	集じん機	ND
第二資材置場	床	2023/10/6 (稼働後)	中央	ND	
		2023/10/6 (稼働後)	東	ND	
		2023/10/6 (稼働後)	西	ND	
		2023/10/6 (稼働後)	設備	操作盤	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	2023/10/5 (稼働後)	床	中央	ND
		2023/10/5 (稼働後)	壁	東	ND
		2023/10/5 (稼働後)	壁	西	ND
		2023/10/5 (稼働後)	設備	集じん機	ND
	固体試料第一前処理室	床	2023/10/5 (稼働後)	中央	ND
			2023/10/5 (稼働後)	西	ND
		壁	2023/10/5 (稼働後)	東	ND
			2023/10/5 (稼働後)	西	ND
	固体試料第二前処理室	床	2023/10/5 (稼働後)	中央	ND
			2023/10/5 (稼働後)	西	ND
		壁	2023/10/5 (稼働後)	東	ND
			2023/10/5 (稼働後)	西	ND

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2023年9月

◆地下水（井戸）中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		27
	2023/9/5 (稼働後)		15
下流	2019/9/6 (稼働前)		14
	2023/9/5 (稼働後)		28

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2023/9/5 (稼働後)		8.4
下流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2023/9/5 (稼働後)		6.1

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2023/9/5 (稼働後)		ND	ND
下流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2023/9/5 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
		測定日			
第一資材置場	集じん機	2023/9/8 (稼働後)		ND	ND
	ドレン部	2023/9/8 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	①一般分析第一前処理室	2023/9/7 (稼働後)		ND	ND
		ドレン部	2023/9/7 (稼働後)	ND	ND
	②固体試料第一前処理室	2023/9/7 (稼働後)		ND	ND
		ドレン部	2023/9/7 (稼働後)		ND
	③固体試料第二前処理室	2023/9/7 (稼働後)		ND	ND
		ドレン部	2023/9/7 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆実証試験排水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	測定日			
2023/9/14	8.6	2.9	16	2.4

pH管理値：5.8~8.6、BOD管理値：60mg/L、COD管理値：90mg/L、SS管理値：60mg/L

◆実証試験排水の放射能濃度等

放流日	放流回数	濁度		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値			
		2023/9/29	1			

濁度管理値：5以下

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2023/9/5	2.4

SS管理値：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2023/9/5 (稼働後)		ND	1.4

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日		
第一資材置場	2023/9/8 (稼働後)		0.3
	2023/9/8 (稼働後)		0.3

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
	西	2023/9/8 (稼働後)	0.25
	南	2023/9/8 (稼働後)	0.43
	北	2023/9/8 (稼働後)	0.19
	中央	2023/9/8 (稼働後)	0.30
第二資材置場	東	2023/9/8 (稼働後)	0.33
	西	2023/9/8 (稼働後)	0.23
	南	2023/9/8 (稼働後)	0.25
	北	2023/9/8 (稼働後)	0.25
	中央	2023/9/8 (稼働後)	0.25
分析室棟	一般分析第一前処理室	2023/9/7 (稼働後)	0.12
	固体試料第二前処理室	2023/9/7 (稼働後)	0.29
	放射能濃度測定室	2023/9/7 (稼働後)	0.11
	防護具脱衣室	2023/9/7 (稼働後)	0.10
	廊下1	2023/9/7 (稼働後)	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
第二資材置場	2023/9/8 (稼働後)	ND	ND	
分析室棟	一般分析第一前処理室	2023/9/7 (稼働後)	ND	ND
	固体試料第一前処理室	2023/9/7 (稼働後)	ND	ND
	固体試料第二前処理室	2023/9/7 (稼働後)	ND	ND
	廊下1	2023/9/7 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻²Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻²Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm ²)			
				第一資材置場	床	中央
	壁	東	2023/9/8 (稼働後)	ND		
		西	2023/9/8 (稼働後)	ND		
	設備	集じん機	2023/9/8 (稼働後)	ND		
第二資材置場	床	中央	2023/9/8 (稼働後)	ND		
	壁	東	2023/9/8 (稼働後)	ND		
		西	2023/9/8 (稼働後)	ND		
	設備	操作盤	2023/9/8 (稼働後)	ND		
	床	中央	2023/9/7 (稼働後)	ND		
分析室棟	一般分析第一前処理室	壁	東	2023/9/7 (稼働後)	ND	
			西	2023/9/7 (稼働後)	ND	
		設備	集じん機	2023/9/7 (稼働後)	ND	
		固体試料第一前処理室	床	中央	2023/9/7 (稼働後)	ND
			壁	東	2023/9/7 (稼働後)	ND
				西	2023/9/7 (稼働後)	ND
	設備		集じん機	2023/9/7 (稼働後)	ND	
	固体試料第二前処理室		床	中央	2023/9/7 (稼働後)	ND
			壁	東	2023/9/7 (稼働後)	ND
			西	2023/9/7 (稼働後)	ND	
		設備	集じん機	2023/9/7 (稼働後)	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.20 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2023年8月

◆地下水（井戸）中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/9/6	(稼働前)	27
	2023/8/3	(稼働後)	17
下流	2019/9/6	(稼働前)	14
	2023/8/3	(稼働後)	42

測定地点	測定日	測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2023/8/3	(稼働後)	7.5
下流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2023/8/3	(稼働後)	7.1

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND
	2023/8/3	(稼働後)	ND	ND
下流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND
	2023/8/3	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
第一資材置場	集じん機	円筒ろ紙	2023/8/4 (稼働後)	ND	ND
		FLン部	2023/8/4 (稼働後)	ND	ND
分析室棟	①一般分析第一前処理室	円筒ろ紙	2023/8/3 (稼働後)	ND	ND
		FLン部	2023/8/3 (稼働後)	ND	ND
	②固体試料第一前処理室	円筒ろ紙	2023/8/3 (稼働後)	ND	ND
		FLン部	2023/8/3 (稼働後)	ND	ND
	③固体試料第二前処理室	円筒ろ紙	2023/8/3 (稼働後)	ND	ND
		FLン部	2023/8/3 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（FLン部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆実証試験排水の環境項目

排水処理・放流の実績はないため測定なし。

◆実証試験排水の放射能濃度等

排水処理・放流の実績はないため測定なし。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2023/8/3		6.2

SS管理値：60mg/L

浮遊物質量 (SS) の報告下限値：1mg/L

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2023/8/3	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/9/27	(稼働前)	ND	1.2
2023/8/3	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m ³)
第一資材置場	2023/8/4	(稼働後)	ND
	2023/8/4	(稼働後)	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
第一資材置場	2023/8/4 (稼働後)	東	0.53
		西	0.29
		南	0.44
		北	0.22
		中央	0.33
第二資材置場	2023/8/4 (稼働後)	東	0.41
		西	0.24
		南	0.26
		北	0.25
		中央	0.25
分析室棟	2023/8/3 (稼働後)	一般分析第一前処理室	0.12
		固体試料第二前処理室	0.20
		放射能濃度測定室	0.13
		防護員更衣室	0.10
		廊下1	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
第一資材置場	2023/8/4 (稼働後)		ND	ND
第二資材置場	2023/8/4 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	2023/8/3 (稼働後)	一般分析第一前処理室	ND	ND
		固体試料第一前処理室	ND	ND
		固体試料第二前処理室	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10⁻³Bq/cm³、セシウム137：1.0 × 10⁻³Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm ²)
第一資材置場	2023/8/4 (稼働後)	床 中央	ND
		壁 東	ND
		西	ND
	2023/8/4 (稼働後)	設備 集じん機	ND
		床 中央	ND
		壁 東	ND
第二資材置場	2023/8/4 (稼働後)	西	ND
		壁 東	ND
		設備 操作盤	ND
	2023/8/3 (稼働後)	床 中央	ND
		壁 東	ND
		西	ND
分析室棟	2023/8/3 (稼働後)	設備 集じん機	ND
		壁 東	ND
		西	ND
		設備 集じん機	ND
		床 中央	ND
		壁 東	ND
	2023/8/3 (稼働後)	壁 西	ND
		設備 集じん機	ND
		床 中央	ND
		壁 東	ND
		西	ND
		設備 集じん機	ND

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2023年7月

◆地下水（井戸）中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		27
	2023/7/4 (稼働後)		19
下流	2019/9/6 (稼働前)		14
	2023/7/4 (稼働後)		39

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2023/7/4 (稼働後)		7.0
下流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2023/7/4 (稼働後)		7.3

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2023/7/4 (稼働後)		ND	ND
下流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2023/7/4 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
		測定日			
第一資材置場	集じん機 円筒ろ紙 ドレン部	2023/7/7 (稼働後)		ND	ND
		2023/7/7 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	①一般分析 第一前処理室	円筒ろ紙 2023/7/6 (稼働後)		ND	ND
		ドレン部 2023/7/6 (稼働後)		ND	ND
	②固体試料 第一前処理室	円筒ろ紙 2023/7/6 (稼働後)		ND	ND
		ドレン部 2023/7/6 (稼働後)		ND	ND
	③固体試料 第二前処理室	円筒ろ紙 2023/7/6 (稼働後)		ND	ND
		ドレン部 2023/7/6 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆実証試験排水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2023/6/26 ※	8.6	5.1	26	6.0

pH管理値：5.8～8.6、BOD管理値：60mg/L、COD管理値：90mg/L、SS管理値：60mg/L
※放流は7/20に実施した。

◆実証試験排水の放射能濃度等

放流日	放流 回数	濁度		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値			
2023/7/20	1	4.7	4.7	ND	ND	7.2

濁度管理値：5以下

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2023/7/20	6.7

SS管理値：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2023/7/20 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/9/27 (稼働前)		ND	1.2
2023/7/4 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m ³)
第一資材置場	2023/7/7 (稼働後)		0.7
	2023/7/7 (稼働後)		0.1

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目	
		空間線量率 (μSv/h)	
第一資材置場	2023/7/7 (稼働後)	東	0.55
		西	0.26
		南	0.45
		北	0.22
		中央	0.31
第二資材置場	2023/7/7 (稼働後)	東	0.41
		西	0.24
		南	0.25
		北	0.25
		中央	0.25
分析室棟	2023/7/6 (稼働後)	一般分析第一前処理室	0.10
		固体試料第二前処理室	0.21
		放射能濃度測定室	0.13
		防護具脱衣室	0.10
		廊下1	0.11

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	
		Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
第一資材置場	2023/7/7 (稼働後)	ND	ND
第二資材置場	2023/7/7 (稼働後)	ND	ND
分析室棟	2023/7/6 (稼働後)	一般分析第一前処理室	ND
		固体試料第一前処理室	ND
		固体試料第二前処理室	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻²Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻²Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定日	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm ²)
		床	壁	
第一資材置場	2023/7/7 (稼働後)	中央	ND	
		東	ND	
		西	ND	
		設備 集じん機	ND	
第二資材置場	2023/7/7 (稼働後)	中央	ND	
		東	ND	
		西	ND	
		設備 操作盤	ND	
		設備 集じん機	ND	
		設備 集じん機	ND	
分析室棟	2023/7/6 (稼働後)	一般分析第一前処理室	ND	
		東	ND	
		西	ND	
		設備 集じん機	ND	
		固体試料第一前処理室	ND	
		西	ND	
	2023/7/6 (稼働後)	固体試料第二前処理室	ND	
		東	ND	
		西	ND	
		設備 集じん機	ND	
		設備 集じん機	ND	
		設備 集じん機	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2023年6月

◆地下水（井戸）中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		27
	2023/6/6 (稼働後)		16
下流	2019/9/6 (稼働前)		14
	2023/6/6 (稼働後)		34

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2023/6/6 (稼働後)		7.9
下流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2023/6/6 (稼働後)		6.1

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2023/6/6 (稼働後)		ND	ND
下流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2023/6/6 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
		測定日			
第一資材置場	集じん機 ドレン部	2023/6/2 (稼働後)		ND	ND
		2023/6/2 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	①一般分析 第一前処理室	2023/6/1 (稼働後)		ND	ND
		2023/6/1 (稼働後)		ND	ND
	②固体試料 第一前処理室	2023/6/1 (稼働後)		ND	ND
		2023/6/1 (稼働後)		ND	ND
	③固体試料 第二前処理室	2023/6/1 (稼働後)		ND	ND
		2023/6/1 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆実証試験排水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2023/6/16	8.5	4.3	16	5.3

pH管理値：5.8~8.6、BOD管理値：60mg/L、COD管理値：90mg/L、SS管理値：60mg/L

◆実証試験排水の放射能濃度等

放流日	放流回数	濁度		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値			
		2023/6/27	1			

濁度管理値：5以下

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2023/6/6	1

SS管理値：60mg/L

浮遊物質量 (SS) の報告下限値：1mg/L

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2023/6/6 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/9/27 (稼働前)		ND	1.2
2023/6/6 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日		
第一資材置場	2023/6/2 (稼働後)		0.2
	2023/6/2 (稼働後)		0.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
第一資材置場	2023/6/2 (稼働後)	東	0.61
		西	0.27
		南	0.46
		北	0.20
		中央	0.31
第二資材置場	2023/6/2 (稼働後)	東	0.31
		西	0.23
		南	0.23
		北	0.24
		中央	0.24
分析室棟	2023/6/1 (稼働後)	一般分析第一前処理室	0.10
		固体試料第二前処理室	0.14
		放射能濃度測定室	0.13
		防護具脱衣室	0.11
		廊下1	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
第一資材置場	2023/6/2 (稼働後)		ND	ND
第二資材置場	2023/6/2 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	2023/6/1 (稼働後)	一般分析第一前処理室	ND	ND
		固体試料第一前処理室	ND	ND
		固体試料第二前処理室	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻²Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻²Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm ²)
第一資材置場	2023/6/2 (稼働後)	床 中央	ND
		壁 東	ND
		西	ND
		設備 集じん機	ND
第二資材置場	2023/6/2 (稼働後)	床 中央	ND
		壁 東	ND
		西	ND
		設備 操作盤	ND
分析室棟	2023/6/1 (稼働後)	床 中央	ND
		壁 東	ND
		西	ND
		設備 集じん機	ND
	2023/6/1 (稼働後)	床 中央	ND
		壁 東	ND
		西	ND
		設備 集じん機	ND
	2023/6/1 (稼働後)	床 中央	ND
		壁 東	ND
		西	ND
		設備 集じん機	ND

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2023年5月

◆地下水（井戸）中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)
上流	2019/9/6	(稼働前)	27
	2023/5/9	(稼働後)	16
下流	2019/9/6	(稼働前)	14
	2023/5/9	(稼働後)	25

測定地点	測定日	測定項目	塩化物イオン濃度 (mg/L)
上流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2023/5/9	(稼働後)	8.8
下流	2019/9/6	(稼働前)	8.0
	2023/5/9	(稼働後)	6.3

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
上流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND
	2023/5/9	(稼働後)	ND	ND
下流	2019/9/6	(稼働前)	ND	ND
	2023/5/9	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
第一資材置場	集じん機	円筒ろ紙	2023/5/12 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/5/12 (稼働後)	ND	ND
分析室棟	①一般分析	円筒ろ紙	2023/5/11 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/5/11 (稼働後)	ND	ND
	②固体試料 第一前処理室	円筒ろ紙	2023/5/11 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/5/11 (稼働後)	ND	ND
	③固体試料 第二前処理室	円筒ろ紙	2023/5/11 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/5/11 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆実証試験排水の環境項目

排水処理・放流の実績はないため測定なし。

◆実証試験排水の放射能濃度等

排水処理・放流の実績はないため測定なし。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2023/5/9		1.7

SS管理値：60mg/L

浮遊物質量 (SS) の報告下限値：1mg/L

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2023/5/9	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/9/27	(稼働前)	ND	1.2
2023/5/9	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m ³)
第一資材置場	2023/5/12	(稼働後)	ND
		(稼働後)	ND
第二資材置場	2023/5/12	(稼働後)	ND
		(稼働後)	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
第一資材置場	2023/5/12	東 (稼働後)	0.60
		西 (稼働後)	0.25
		南 (稼働後)	0.55
		北 (稼働後)	0.18
		中央 (稼働後)	0.30
第二資材置場	2023/5/12	東 (稼働後)	0.33
		西 (稼働後)	0.24
		南 (稼働後)	0.25
		北 (稼働後)	0.24
		中央 (稼働後)	0.24
分析室棟	2023/5/11	一般分析第一前処理室 (稼働後)	0.10
		固体試料第二前処理室 (稼働後)	0.13
		放射能濃度測定室 (稼働後)	0.15
		防護具脱衣室 (稼働後)	0.10
		廊下1 (稼働後)	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
第一資材置場	2023/5/12	(稼働後)	ND	ND
		(稼働後)	ND	ND
第二資材置場	2023/5/12	(稼働後)	ND	ND
		(稼働後)	ND	ND
分析室棟	2023/5/11	一般分析第一前処理室 (稼働後)	ND	ND
		固体試料第一前処理室 (稼働後)	ND	ND
		固体試料第二前処理室 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
第一資材置場	2023/5/12	床 中央 (稼働後)	ND	
		壁 東 (稼働後)	ND	
		西 (稼働後)	ND	
		設備 集じん機 (稼働後)	ND	
第二資材置場	2023/5/12	床 中央 (稼働後)	ND	
		壁 東 (稼働後)	ND	
		西 (稼働後)	ND	
		設備 操作盤 (稼働後)	ND	
分析室棟	2023/5/11	一般分析第一前処理室 床 中央 (稼働後)	ND	
		壁 東 (稼働後)	ND	
		西 (稼働後)	ND	
		設備 集じん機 (稼働後)	ND	
	固体試料第一前処理室	2023/5/11	床 中央 (稼働後)	ND
			壁 東 (稼働後)	ND
			西 (稼働後)	ND
			設備 集じん機 (稼働後)	ND
	固体試料第二前処理室	2023/5/11	床 中央 (稼働後)	ND
			壁 東 (稼働後)	ND
			西 (稼働後)	ND
			設備 集じん機 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

技術実証フィールドにおける 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2023年4月

◆地下水（井戸）中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		27
	2023/4/6 (稼働後)		17
下流	2019/9/6 (稼働前)		14
	2023/4/6 (稼働後)		27

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2023/4/6 (稼働後)		9.2
下流	2019/9/6 (稼働前)		8.0
	2023/4/6 (稼働後)		6.4

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2023/4/6 (稼働後)		ND	ND
下流	2019/9/6 (稼働前)		ND	ND
	2023/4/6 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m ³ N)	Cs-137 (Bq/m ³ N)
		測定日			
第一資材置場	集じん機	円筒ろ紙	2023/4/19 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/4/19 (稼働後)	ND	ND
分析室棟	①一般分析 第一前処理室	円筒ろ紙	2023/4/18 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/4/18 (稼働後)	ND	ND
	②固体試料 第一前処理室	円筒ろ紙	2023/4/18 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/4/18 (稼働後)	ND	ND
	③固体試料 第二前処理室	円筒ろ紙	2023/4/18 (稼働後)	ND	ND
		ドレン部	2023/4/18 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m³N、セシウム137：0.5 Bq/m³N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m³N、セシウム137：1.0 Bq/m³N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆実証試験排水の環境項目

排水処理・放流の実績はないため測定なし。

◆実証試験排水の放射能濃度等

排水処理・放流の実績はないため測定なし。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

測定項目	浮遊物質質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2023/4/6	1.2

SS管理値：60mg/L

浮遊物質質量(SS)の報告下限値：1mg/L

★沈砂池からの放流水の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2023/4/6 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		
2019/9/27 (稼働前)	ND	1.2
2023/4/6 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日		
第一資材置場	2023/4/19 (稼働後)		0.1
	2023/4/19 (稼働後)		0.1

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
第一資材置場	東	2023/4/19 (稼働後)	0.59
	西	2023/4/19 (稼働後)	0.27
	南	2023/4/19 (稼働後)	0.53
	北	2023/4/19 (稼働後)	0.19
	中央	2023/4/19 (稼働後)	0.33
第二資材置場	東	2023/4/19 (稼働後)	0.43
	西	2023/4/19 (稼働後)	0.24
	南	2023/4/19 (稼働後)	0.24
	北	2023/4/19 (稼働後)	0.25
	中央	2023/4/19 (稼働後)	0.27
分析室棟	一般分析第一前処理室	2023/4/18 (稼働後)	0.10
	固体試料第二前処理室	2023/4/18 (稼働後)	0.17
	放射能濃度測定室	2023/4/18 (稼働後)	0.14
	防護具脱衣室	2023/4/18 (稼働後)	0.11
	廊下1	2023/4/18 (稼働後)	0.11

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
	測定日			
第一資材置場	2023/4/19 (稼働後)		ND	ND
	2023/4/19 (稼働後)		ND	ND
第二資材置場	2023/4/19 (稼働後)		ND	ND
	2023/4/19 (稼働後)		ND	ND
分析室棟	一般分析第一前処理室	2023/4/18 (稼働後)	ND	ND
	固体試料第一前処理室	2023/4/18 (稼働後)	ND	ND
	固体試料第二前処理室	2023/4/18 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10⁻²Bq/cm³、セシウム137：1.0 ×10⁻²Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm ²)		
	測定日				
第一資材置場	床	中央	2023/4/19 (稼働後)	ND	
		東	2023/4/19 (稼働後)	ND	
	西	2023/4/19 (稼働後)	ND		
		設備 集じん機	2023/4/19 (稼働後)	ND	
第二資材置場	床	中央	2023/4/19 (稼働後)	ND	
		東	2023/4/19 (稼働後)	ND	
	西	2023/4/19 (稼働後)	ND		
		設備 操作盤	2023/4/19 (稼働後)	ND	
分析室棟	一般分析第一前処理室	床	中央	2023/4/18 (稼働後)	ND
			東	2023/4/18 (稼働後)	ND
		西	2023/4/18 (稼働後)	ND	
			設備 集じん機	2023/4/18 (稼働後)	ND
	固体試料第一前処理室	床	中央	2023/4/18 (稼働後)	ND
			東	2023/4/18 (稼働後)	ND
		西	2023/4/18 (稼働後)	ND	
			設備 集じん機	2023/4/18 (稼働後)	ND
	固体試料第二前処理室	床	中央	2023/4/18 (稼働後)	ND
			東	2023/4/18 (稼働後)	ND
		西	2023/4/18 (稼働後)	ND	
			設備 集じん機	2023/4/18 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.20 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²